

参加費
無料

スクラム十勝シンポジウム2015

農業と食を中心とする“強い十勝”づくり
～フードバレーとかちの実現に向けて～

【日時】平成27年10月30日(金) 13:30～16:50

【会場】とがちプラザ 2階 視聴覚室(帯広市西4条南13丁目)

開会挨拶 13:30～13:40

公益財団法人とがち財団 専務理事 鱈場 尊

「フードバレーとかち」の取り組みについて 13:40～14:10 (発表各15分)

「十勝における研究開発力の発揮による『フードバレーとかち』の推進」

フードバレーとかち推進協議会(事務局:帯広市産業連携室) 主査 藤芳 雅人

平成26年度「我が国の未来を拓く地域の実現に関する調査研究」成果報告

「資源循環型農業を核とした持続社会の創成 ～フードバレーとかちの実現に向けて～」

国立大学法人帯広畜産大学 地域連携推進センター 知的財産マネージャー 嘉屋 元博

「スクラム十勝」構成6機関の発表 14:10～16:45 (発表各20分) [休憩/総括質疑含む]

「十勝スマート農業協議会におけるICTを基軸としたスマート農業モデルの実証」

(国研)農研機構北海道農業研究センター芽室研究拠点 大規模畑作研究領域 上席研究員 澁谷 幸憲

「農作業の省力化・効率化技術に関する研究開発の動向」

(地独)北海道立総合研究機構 十勝農業試験場 生産システムグループ 研究職員 加藤 弘樹

「赤身牛肉の比較 ～乳用種牛肉と輸入牛肉はどう違うのか?～」

(地独)北海道立総合研究機構 畜産試験場 肉牛グループ 研究主任 大井 幹記

「牧草種子生産による自給飼料増産への貢献」

(独)家畜改良センター十勝牧場 種苗課 栽培係長 寺戸 貴裕

「地場産原料を用いた加工食品開発による付加価値創出」

(公財)とがち財団 事業部研究開発課 係長 佐々木 香子

「再生可能エネルギーによるアグリバイオグリッドの創生」

国立大学法人帯広畜産大学 畜産衛生学研究部門 環境衛生学分野 教授 梅津 一孝

閉会挨拶 16:45～16:50

国立大学法人帯広畜産大学 理事(研究担当)・副学長 小田 有二

主催/スクラム十勝(国立大学法人帯広畜産大学、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センター芽室研究拠点、地方独立行政法人北海道立総合研究機構畜産試験場、地方独立行政法人北海道立総合研究機構十勝農業試験場、公益財団法人とがち財団、独立行政法人家畜改良センター十勝牧場)

共催/フードバレーとかち推進協議会、十勝農学談話会 後援/帯広市

スクラム十勝シンポジウム2015

十勝では「食」と「農林漁業」を柱とした産業政策「フードバレーとかち」が推進されており、地域の強みを活用した産業振興に向け「オール十勝」での取り組みが活発になる中、「スクラム十勝」を構成する圏域の試験研究機関には、研究開発力を通じてその実現に貢献することが期待されています。

そこで、今回のシンポジウムでは「農業と食を中心とする強い地域づくり」をテーマに掲げ、「フードバレーとかち」の取り組みについて説明するとともに、「農業の成長産業化」「食の価値創出」「バイオマスの利活用」に関する試験研究機関の取り組みについて発信いたしますので、多くの皆様のご出席をお待ち申し上げます。



【会場】 とちちプラザ 2階 視聴覚室
(帯広市西4条南13丁目 電話:0155-22-7890)

【定員】 160名

●出席をご希望の方は、下記申込書に必要事項を記載の上、お早めにお申込みください。

【お問い合わせ】 <スクラム十勝シンポジウム2015 事務局>
(公財)とかち財団 事業部プロジェクト推進課 (担当:赤間、梅沢)
帯広市西22条北2丁目23-9 十勝産業振興センター
電話:0155-38-8850 メール:info@food-tokachi.jp

スクラム十勝シンポジウム2015 出席申込書

(公財)とかち財団 宛 → FAX:0155-38-8809 メール:info@food-tokachi.jp

【申込〆切】平成27年10月22日(木)

企業・団体・機関等の名称			
連絡先	住所		
	電話	FAX	
	メール(ご担当者)		
出席者	ご所属	お役職	ご氏名

※ご記入いただいた個人情報は、本シンポジウムの運営事務以外には使用いたしません。